Νο	評価項目	意見 元	公開/ 非公開	意見等の内容(要旨)	事業者回答(要旨)	知事意見 素案No.
1	全般的事項	田中委員	公開	たりできるような、土地の所有権とい	承知しました。 (1021審議会) ○事業区域は、100%全部改変されました。 (1021審議会後) ○補正評価書には環境保全措置の種類を記載しておりますが、それ以前確認の中で、移植の種類は「代償」になるとのご指摘があり、こちらものを「最小化」としていたものをりまず。「最小化」としていたものをります。完了報告書では、移植は「最小化」の措置という考え方で記載いたし	_
7	植物	小林委員	公開	(1021審議会) ○植生について、事業前の調査と事後 調査で、調査実施者は違うのか。 ○特殊な生活形態の希少植物として知られるムカゴサイシンの移植について、経験があると聞いていたが、(中間報告書に記載の)専門家の技術的助言が不明確であり、専門的な知見が不足している。特殊な生活形態を踏まえ、専門的な知見の中で移植することが必要。	事後調査の結果をとりまとめました。 (1021審議会後)	1
8	植物	小林委員	公開		○ラン科植物の移植の実施方法は【公開】資料①に示すとおりです。各種の特性を考慮して実施しました。完了報告書ではこれらの内容を追記いたしま	1
9	植物	小林委員	公開	き。	(1021審議会) - (1021審議会後) ○完了報告書では環境保全措置の成否 について、各植物の生態を考慮した科 学的なまとめを行います。また、今後 の同種事業において、その知見を活か します。	1,2

Νο	評価項目	意見元	公開/	事未 深境が音 中 画 中 同 報 c 意見等の内容 (要旨)	事業者回答(要旨)	知事意見 素案No.
10	植物	北原委員	公開		(1021審議会) ○完了報告書まで、継続して観察を行います。	2
11	植物	北原委員	公開	(1021審議会) ○例えば植物の成功基準が「活着率70%」だと、12の植物種以外は基準を達成するが、減少傾向が見られる植物種も達成となってしまうため、「成功基準」及び「保全措置の再検討(見直しの必要性)」については、全体的に再検討してほしい。	○「成功基準」の活着率70%以上は補 正評価書に記載済みですので、変更い	2
12	動物	佐藤委員	公開	た「ブナ」という表現の使い分けを確認すること。 ○ブナの豊作・凶作とクマタカの繁殖 状況の関連性がわからない。事業実施	加えて有識者からも同様の助言を得ています。 ○有識者によると、ブナが豊作であった場合、ネズミ類の個体数が増え、キッネやテンが主にネズミ類を捕食することで、クマタカの主要な餌動物であ	3

Νο	評価項目	意見元	公開/	意見等の内容 (要旨)	事業者回答(要旨)	知事意見 素案No.
13	動物	佐藤委員	公開		たブナの調査地点が記載されていますが、ご指摘のとおり高利用域内のブナ林の面積は非常に少ないです。 (1021審議会後)	3
16	動物	湯本委員	公開		(1022審議会) - (坂本会長) 今の御意見に対しコメント等あります か。(委員の意見を)考慮いただくと いうことで。 (1021審議会後) ○承知しました。沢への土壌の流出防 止に細心の注意を払って実施いたしま す。	_
17	動物	岩田委員	公開	(1021審議会) ○魚類モニタリング調査の結果について、「生息状況に変化はない」と判断しているが、外来種又は国内外来種が大幅に増加しており、魚類群集の変化が見てとれるため、事業による影響の有無を踏まえ、丁寧に考察及び説明すること。	○第1回技術審議会のパワーポイント には記載していませんでしたが、中間	4
18	動物	岩田委員	公開	(1021審議会) ○魚類のモニタリング調査について、 結果を調査地点ごとのデータの合計で 示しているが、この表記では、各地点 でどういった変化が起きたのかがわか らない。調査地点ごとに、魚類群集、 水生昆虫群集の変化したかがわかるよ うに表現すべき。 ○グラフに単位がないため、調査地当 たりなのか、努力量当たりなのかなど を判断しかねる。	○完了報告書では、調査地点(4地点)ごとの群集の変化について、より 丁寧にまとめた結果を記載いたしま す。参考までに中間報告書段階の魚類 の結果を地点ごとに分けた結果は【公	4

Νο	評価項目	意見 元	公開/ 非公開	意見等の内容(要旨)	事業者回答(要旨)	知事意見 素案No.
19	動物	岩田委員	公開	(1021審議会) ○底生動物のモニタリング調査の結果 についても、結果を調査地点ごとの データの合計で示しており、強引な示 し方である。 ○季節ごとのデータがあるなら、群集 の変化などについて、定量的な結果の 表示方法を工夫されたい。	○完了報告書では、調査地点(4地 点)ごとの群集の変化について、より	4
20	動物	岩田委員	公開	(1021審議会) ○底生動物のモニタリング調査の結果 について、目レベルで集計すると群集 の変化が見て取れなくなる。多変量解 析を用いた群集解析などを採用し、種 あるいは属など、レベルでの細かい解 像度の情報により、群集の変化につい て評価してほしい。	○完了報告書では、工事前に確認されていましたが、工事中に確認されなく	4
21	動物	岩田委員	公開	(1021審議会) ○底生動物のモニタリング調査の結果 について、調査地点ごとに表示するな ど工夫してほしい。	(1021審議会) - (1021審議会後) No. 19と同様	4
22	動物	岩田委員	公開	(1021審議会) ○ヤマトビケラ属は造網性ではなく、 匍匐性(ほふくせい)だと思うので、 確認してほしい。	(1021審議会) ─ ○ヤマトビケラ属は砂礫を固めて巣を 造りますが、巣ごと移動する「携巣 型」の誤りでした。訂正いたします。	_
23	動物	岩田委員	公開	種の特徴と少しずれているようにも見 えるので、再確認してほしい。	が、中間報告書には単位を記載してい	_
24	動物	北原委員	公開	(1021審議会) ○底生動物について、「ムカシトンボ の生息が確認された」としているが、 調査1年目で確認され、2年目では確 認されていないため、モニタリングを 継続すること。		5

	不用小	11375 AV		事業 現現影響評価 甲间報司	i 青に╟る息兄登理衣【公開版】 -	-
Νο	評価項目	意見	公開/ 非公開	意見等の内容 (要旨)	事業者回答 (要旨)	知事意見 素案No.
25	生態系	田中委員	公開	否かではなく、この地域が、対象種が 永続できるか地域であるかどうかを 価する必要がある。 ○生態系の成功基準にクマタカを、他と でいるが、植物の生態系としての を発生地が守られるいと いるが、植物の生態系として がなや群生地が守落で いるがでもれている。 の生態系について がよれている。 の生態系について は、定区域内のの生態系がいて は、実施区域分の生態系がいて は、実施区域分の生態系がいる。 の特定を は、の は、か は、い。 の特性との でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	(1021審議会) ○補正評価書に記載した事後調査項目しか調査をしておらず、中間報告書手続にて説明はできません。中間報告書ではなく、完了報告書のときに説明するということでどうですか。 (1021審議会後) ○補正評価書での生態系に係る事後調査は、クマタカ(上位性)、希少目と短知り、体殊性)、水生生物の項目と実施しており、植物に関する事後調査は書で	6
				態系の状況、完了報告書でどういう報告をする考えかを説明すること。 (1021審議会) ○現地調査の際、鉄塔工事エリアに草	は事業実施区域内が全て改変されたことに対する「代償」の措置を行うとはしておりませんが、「最小化」の措置として、鉄塔用地以外の区域に植樹を行い、樹林環境の復元を図ることとしています。完了報告書では植樹の状況を踏まえ、将来的な植生の変化について記載いたします。	
				原的環境が復元し、チョウ類が確認されるなど、新たな生態系が創出されていたため、新たに創出された草原的環境を管理していってほしい。	(1021審議会後)	
26	生態系	北原委員	公開		までは、 までは、 でいるのでは、 でいるが	7